

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	認定特定非営利活動法人こむの事業所
住所	兵庫県宝塚市売布東の町12番9号
電話番号	0797-87-8330

事業所番号	2811100839
管理者名	代表理事 松藤 聖一
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	<input type="radio"/>	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
⑨0点 ⑩80点 ⑪65点 ⑫55点 ⑬40点 ⑭30点 ⑮20点 ⑯5点	65	点

(II) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	<input type="radio"/>	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑦60点 ⑧50点 ⑨40点 ⑩20点 ⑪10点 ⑫5点	60	点

(III) 多様な働き方(※)		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
⑨小計(注1)		点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上(※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	<input type="radio"/>	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	<input type="radio"/>	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いづれか一方のみの取組を行っている	<input type="radio"/>	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	<input type="radio"/>	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	<input type="radio"/>	
⑥ピアサポートの配置		
ピアサポートを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものとの認証を受けている		
⑨小計(注2)		点

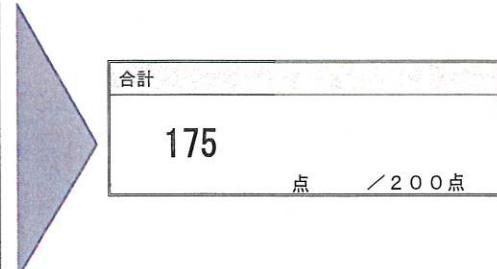
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	<input type="radio"/>	10点
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	<input type="radio"/>	0点
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	<input type="radio"/>	10点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点 90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					



就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績I～IV、VI）

(I) 労働時間					
前年度（令和6年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	26,231	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	5,248	人
(II) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
生産活動収入から経費を除いた額	27,662,134	円	利用者に支払った賃金総額	27,354,531	円
生産活動収入から経費を除いた額	29,668,167	円	利用者に支払った賃金総額	29,003,056	円
前年度（令和5年度見込）					
生産活動収入から経費を除いた額	29,904,446	円	利用者に支払った賃金総額	29,904,446	円
(III) 多様な働き方					
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を就業規則等で定めている	<input checked="" type="checkbox"/>	◎利用者を職員として登用する制度を就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	在宅勤務に係る労働条件及び服務規律を就業規則等で定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	◎短時間勤務に係る労働条件を就業規則等で定めている	<input checked="" type="checkbox"/>	◎時差出勤制度に係る労働条件を就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を就業規則等で定めている	<input checked="" type="checkbox"/>	◎傷病休暇等の取得に関する事項を就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>		
(IV) 支援力向上					
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会に参加した職員が1人以上参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>	◎視察・実習の実施又は受け入れのいずれか一方のみの取組を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名 障害者の映画鑑賞への情報配慮に関する研修会 研修講師 森口百々子、鈴木京子 実施日・受講者数 6月 26日 1人		※研修、学会等名 特別支援学校研究協議会 実施日 12月 6日 研究テーマ 障害者の就労・定着支援の現状と課題 ※学会誌等名 掲載日 月 日		※先進的事業者名 実施日/ 参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 就労支援A型事業所 リベラーラ 実施日/ 参加者数 9月 17日 2人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアソポーターの配置	
◎販路拡大の商談会等へ1回以上参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◎人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	<input checked="" type="checkbox"/>	◎ピアソポーターを職員として配置している	<input type="checkbox"/>
※商談会等名 黒大豆枝豆の冷凍パック販売商談会 主催者名 JA兵庫六甲・阪神農業改良普及センター 日時 8月 5日 内容 未利用の黒大豆枝豆を材料にコロッケ、豆ご飯、ムース等の加工品を試食し意見交換。		人事評価制度の制定日 2015年 10月 1日 人事評価制度の対象職員数 名 うち昇給・昇格を行った者 名 当該人事評価制度の周知方法 職員集会で周知		※配置期間 月 日～月 日 就業時間 職務内容	
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している	<input type="checkbox"/>	◎都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるもの の認証を受けている	<input type="checkbox"/>		
※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関		※認証を受けた日 月 日 規格等の内容			
(VI) 経営改善計画					
◎経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。 ※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	認定特定非営利活動法人ごむの事業所
住 所	宝塚市壳布東の町12-9
電話番号	0797-87-8330

事業所番号	2811100839
管理者名	松藤 聖一
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 宝塚市切畠字西オオツラ50番地

サツマイモ畠、いちじく畠

実施日程 2024年5月～2025年3月

(サツマイモ) 6月7,8日 植苗 11月4,7,9,15日 収穫
(いちじく) 10月2日 防鳥ネット張り 2月8日 剪定 3月9日 剪定枝焼却処分

実施した生産活動・施設外就労の概要

障害者スタッフが支援スタッフの支援を受けながら、地元農家の指導によりサツマイモの植苗、収穫及びイチジクの防鳥ネット張り、剪定等の業務に従事した。

利用者数等 知的障害者 4名 精神 2名

<目的>

地域連携活動のねらい

離農する農家が増え続け、地域の課題になっている耕作放棄地の解消に地元農家と協力して取り組むことにより、就労支援事業としての成果とともに、障害者就労への理解を深める。

地域にとってのメリット

対象者にとってのメリット 農村地として大きな課題であった耕作放棄地の解消に繋がった。
農作業のスキルとともに、自然の中で働く充実感を得ることができた。

<成果>

実施した結果

農福連携事業として、ごむの事業所から車で約15分の距離にある耕作放棄地の復活に地元農家とともに取り組み、さつまいもとイチジクの栽培、収穫を行った。

得られた成果

収穫したサツマイモの半分は学校給食用に、残りはごむの市場で販売し、就労支援事業として障害者スタッフの勤務時間増加につながるなど、一定の成果が得られた。

課題点

夏場の高温、雨不足のためイチジクは収穫できず、対応が課題となった。

<活動の様子>

活動の様子の写真**成果物の写真**

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

地域課題解決のために、地元からごむの事業所への呼びかけで始まった農福連携事業で、手探りであったが、問題解決につながるとともに、障害者スタッフへの作業指示など円滑にでき、当初の目的を達成できたと思う。

天候にも左右される作業日程の調整が大変で、事業所の作業スケジュールにも影響された。

全体には概ね順調であったと判断しており、今後も必要に応じて耕作放棄地対策への協力を依頼するつもりである。

今後の連携強化に向けた課題

次々と生じる耕作放棄地の復活を担っていくためには、従事者数を増やす必要があるが、現在の人員では対応が困難である。

連携先企業名	宝塚市切畠地区農会	担当者名	和田 秀章
--------	-----------	------	-------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	認定特定非営利活動法人 こむの事業所
住 所	宝塚市売布東の町12-9
電話番号	0797-87-8330

事業所番号	2811100839
管理者名	松藤聖一
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

活動場所：宝塚せいれいの里内 結いホーム宝塚

実施日程：2024年4月10日(水)～4月23日(火)

活動内容：清掃体験実習

<活動の様子>



<目的>

本人はこむの事業所で日々清掃業務に携わっていたが、今回一部の受託先が工事のため、清掃業務に余裕が出来た期間を活用し、他事業所清掃を体験することで、より一層スキルの向上を図ることを目的として行った。

<成果> 体験先では、広大なロビーの掃除機、4階分の階段の

雑巾掛け、汚物室への複雑な経路など、日頃とは全く違う作業を体験し新しい作業の要領を身に着けることができた。課題としては、小休憩を自分でとることができず、そのタイミングを決めておかなければ、いけないことが分かった。

成果として、本人の強い希望で2回の体験実習後に一般就労が叶い、就労定着ができた。本人・家族ともに充実した生活を送っている。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

仕事への誠実な取り組みの様子を評価している。今まで毎日実施していない清掃場所であったので非常にきれいになった。

今回支援者が長時間についての体験実習であったため実習生の特性にあった実習方法を計画することができた。

今後も活動を定期的に実施してもらい、利用者の清掃作業技術の向上をめざしていただきたい。

連携先企業（担当者）	宝塚せいれいの里 結いホーム宝塚	ケアサービス課長	遠藤真由美
------------	------------------	----------	-------

利用者からの意見・評価

いつもの作業場所よりもずっと大きなところだったので、少しんどかつたけれどちゃんと出来ました。途中から休息時間を決めてもらったので、休むことができました。また体験実習に来たいです。

体験をしたことで自信がつきました。結いホームで仕事をしたいと思いました。